



南房総のハズシ

[発行]

南房総教育事務所

令和6年9月25日

第15号

文責 学校・家庭・地域連携班

体験活動の意義 ～子どもたちに豊かな体験を～

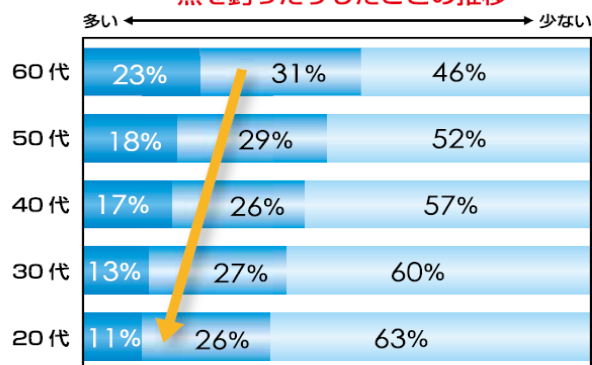
国立青少年教育振興機構が行った調査によると、自然の中での遊びや自然観察、地域の中での社会体験や家庭でのお手伝い、ままごと遊びやヒーローごっこなど、子どもの頃の様々な体験が、人生の基盤となり、大人になった時の意欲やコミュニケーション力の差となって表れることが明らかになってきました。

しかし近年、社会が豊かで便利になる中で、子どもたちの自然体験や生活体験を始めとする様々な体験が減少している傾向にあります。

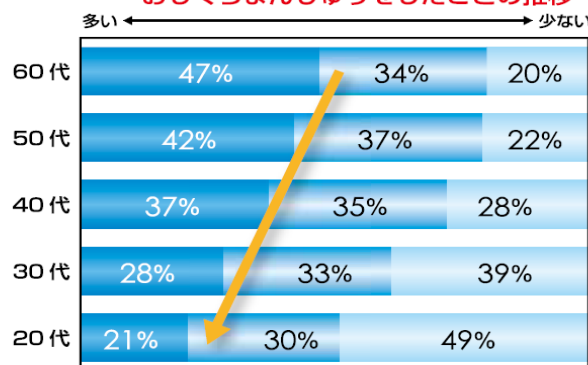
学校でも、日々の教育活動で多くの体験活動を実施していますが、その意義をあらためて確認してみたいと思います。

※以下、国立青少年教育振興機構の調査から抜粋

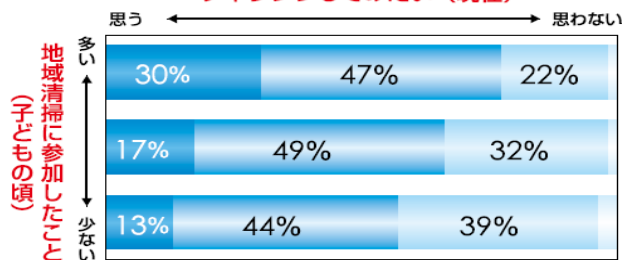
中学生の頃に海や川で貝を採ったり 魚を釣ったりしたこと推移



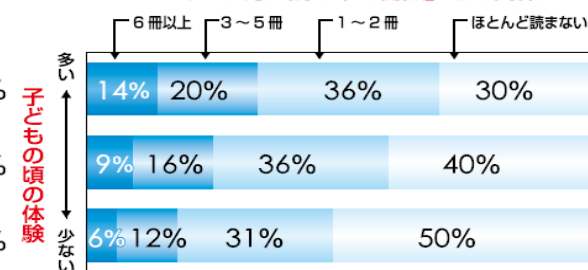
小学校4～6年生の頃にすもうやおしくらまんじゅうをしたこと推移



経験したことないことには何でも チャレンジしてみたい (現在)

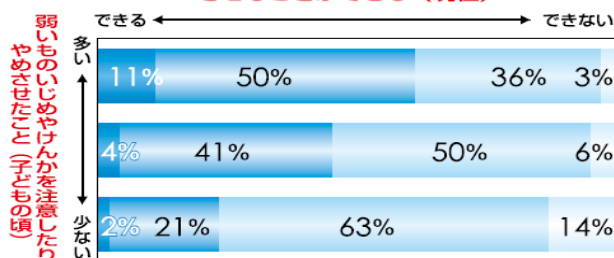


子どもの頃の体験と 「1ヶ月に読む本の冊数」との関係

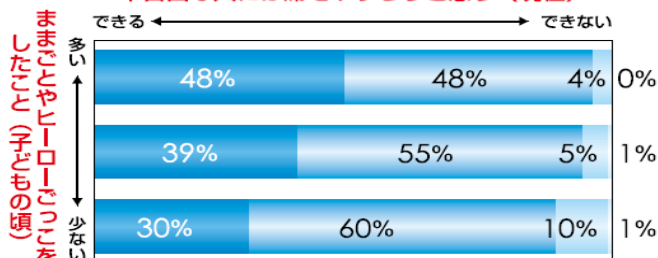


「弱いものいじめやけんかを注意したり、やめさせたこと」が多いほど、「けんかをした友だちを仲直りさせることができる」というように相互の関連が見いだしやすい項目の間だけでなく、「ままごとやヒーローごっこをしたこと」と「電車やバスに乗ったとき、お年寄りや身体の不自由な人には席をゆずろうと思う」といった、直接の関連が見いだしにくい項目の間にも相関関係が見られます。大人になってからの資質・能力は、家庭や地域における子どもの頃の様々な体験と関係しています。

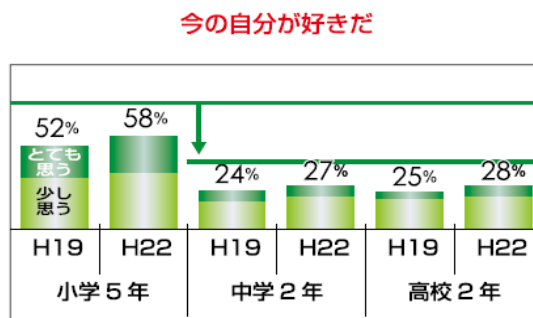
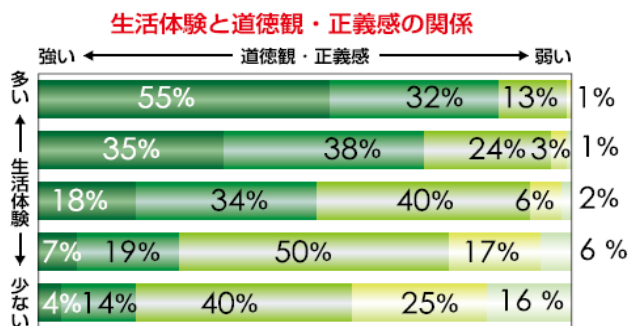
けんかをした友だちを仲直り させることができる (現在)



電車やバスに乗ったとき、お年寄りや身体の不自由な人には席をゆずろうと思う (現在)



体験が豊富な青少年ほど道徳観・正義感が強い傾向にあります。また、中高生は小学生に比べて、自己肯定感が低くなっていますが、体験が多い青少年ほど、自己肯定感が高い傾向にあることもわかっています。中高生は、勉強や部活で忙しいかも知れませんが、体験は大切です。



上記の調査結果からも、子どものころの体験(自然体験、動植物との関わり、友達との遊び、地域活動、家族行事、家事手伝い)によって得られる資質・能力(自尊感情、共生感、意欲・関心、規範意識、職業意識、人間関係能力、文化的作法・教養等)は、我々が教育活動で求める「こんな子どもたちを育てたい」「こんな子どもたちに育ってほしい」と願うことに共通しているものだということがわかってきます。

教育課程を編成する中で、このような視点も取り入れながら、日々の教育活動(体験活動)に家庭や地域と連携しながら取り組んでいく必要があるのだと思います。

★南の社教 学校訪問

令和6年9月10日(火)、『食育促進事業』が行われた富津市立吉野小学校(校長：三浦貴子先生)を訪問してきました。

この日は、健康円【(株)玄米酵素 特約店】代表の古谷勝氏・古谷玲子氏を講師に迎え、5年生・6年生を対象に、学習のテーマを「人生は食で決まる」と題し、玄米酵素を使った実験を皆で行いました。

最初に、講師の先生によるデモンストレーション…固めのくず湯を用意し、そこに市販の味噌や、酵素が生きている味噌、玄米酵素等をそれぞれの容器に投入、その変化を観察しました。その後、児童が班毎に別れ、玄米酵素を使った実験に取り組みました。

固まったゼリー状のくず湯に玄米酵素を入れると、次第に柔らかくなり、最後は液体に戻っていきます。私たち人間は、食事の際に体内で同じことが起きている。日本古来の食文化(味噌・納豆・ぬか漬け等)には、腸内環境を整えながら、免疫力を高めて病気を予防する力があることを知ることができました。

講師の先生からは、①酵素は熱に弱いたんぱく質でできている。②よく噛むことで、唾液の消化酵素が出るので栄養の吸収が良くなる。③発酵食品は日本人の食生活を豊かにし、食材のうまみ、栄養、保存性を高める。等のお話がありました。

参加した児童からは、「実験で酵素の力を知ることができてよかった。」「今日学んだことをこれからの食生活に生かしたい。」等の感想がありました。

また、当日は、たくさんの保護者も参加し、実験のお手伝いを行いながら、共に学ぶ機会となりました。

今回の取り組みは、学校・地域(企業)・保護者(家庭)・行政(教育委員会)が一体となって、子どもたちのために教育活動を展開しており、吉野小学校の温かくアットホームな雰囲気、元気で礼儀正しく、笑顔が素敵な子どもたちは日々の教育活動・教育環境から育まれていることを学ばせていただきました。三浦校長先生をはじめ、吉野小学校の皆様、保護者の皆様ありがとうございました。

